

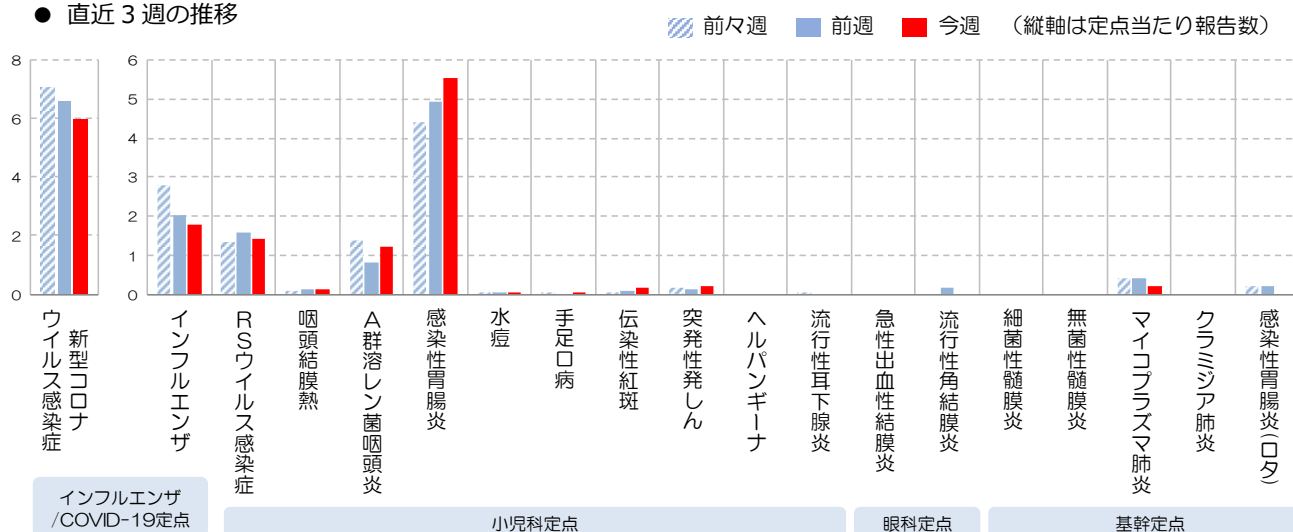
今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症およびRSウイルス感染症の患者報告数が高い状態で推移しています。
- 感染性胃腸炎の患者報告数が増加しています。
- インフルエンザの患者報告数に減少傾向がみられますが、未だ通常より高い状態が続いています。
- その他の感染症にも流行の兆しがみられるため、飛沫感染や手指を介した接触感染などに注意が必要です。

定点把握対象疾患

<インフルエンザ/COVID-19 定点：87 か所、小児科定点：53 か所、眼科定点：11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

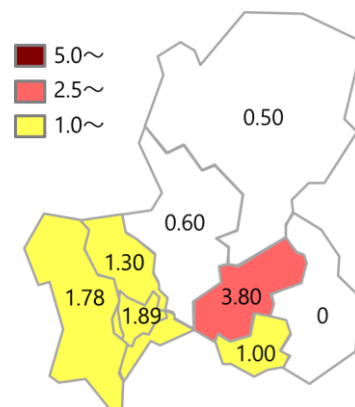
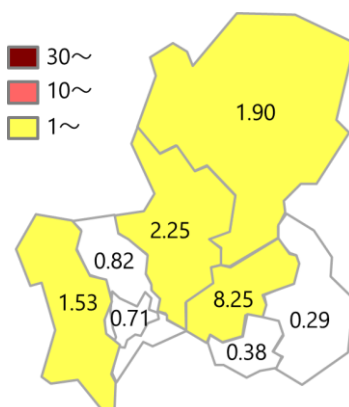
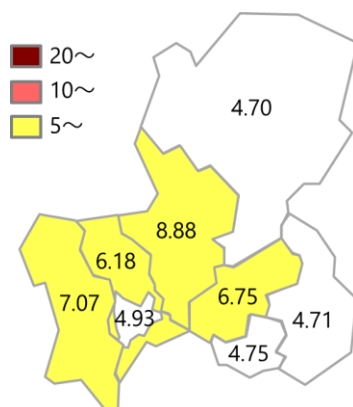


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

<新型コロナウイルス感染症>

<インフルエンザ>

<RSウイルス感染症>



※岐阜県ホームページ掲載：『この冬も感染対策の徹底を』

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/408558.html>

全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 7 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし

5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、ウイルス性肝炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、梅毒 2 例、百日咳 5 例